



日高市

ぎ

か

い

HIDAKA
CITY
COUNCIL
NEWS

だ

よ

り

日高市議会だより122号（令和6年2月1日発行）



日高市消防団出初式
（令和6年1月7日）

議案 番号	会派名 議員名 議案等の名称	審議 結果	あしたば	アップ デート 日高	公明党	志正会	大地の会	みらい	虹の会	早 共 薺	実	みんなの 会	賛成	反対	委員会 付 託			
			松尾 万葉香	金子 一 繁	山田 貴 文	三木 伸 也	鈴木 健 夫	森崎 成 喜	新井 均	加藤 大 輔	和 田 貴 弘	大澤 博 行			加藤 将 伍	近藤 沙 織	佐藤 真	成田 奈緒子
47	令和 5 年度日高市一般会計補正 予算（第 5 号） → トピックス①	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	14	1	◇	◇	
48	令和 5 年度日高市国民健康保険 特別会計補正予算（第 1 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	◇		
49	令和 5 年度日高市水道事業会計 補正予算（第 2 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0		◇	
50	令和 5 年度日高市下水道事業会 計補正予算（第 1 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0		◇	
51	日高市債権管理条例 → トピックス②	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	◇		
52	日高市職員の自己啓発等休業に 関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	◇		
53	日高市職員の修学部分休業に関 する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	◇		
54	日高市地区計画区域内における建築物 の制限に関する条例 → トピックス③	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0		◇	
55	日高市地区計画区域内における建築物の緑化率 の最低限度に関する条例 → トピックス④	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0		◇	
56	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する 条例の一部を改正する条例 → トピックス⑤	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	14	1			◇
57	市長及び副市長の給与等に関する条例 の一部を改正する条例 → トピックス⑥	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	14	1	◇		
58	教育長の給与等に関する条例の一 部を改正する条例 → トピックス⑥	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	14	1	◇		
59	日高市職員の給与に関する条例及び日高市一般職の任 期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	◇		
60	日高市災害派遣手当等の支給に関す る条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	◇		
61	日高市子ども医療費支給に関する条例 の一部を改正する条例 → トピックス⑦	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	◇		
62	日高市ひとり親家庭等の医療費の支給 に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	◇		
63	日高市国民健康保険税条例の一 部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	◇		
64	空家等対策の推進に関する特別措置法の 改正に伴う関係条例の整理に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0		◇	
65	財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0		◇	

議長（可否同数の場合のみ議長が裁決）

議案 番号	議案等の名称	審議 結果	会派名 議員名		あした ば	アップ デート 日高	公明党	志正会	大地の会	みらい	虹の会	日本共産 党	実	みんなの 会	賛成	反対	委員会 付託						
			松 尾	金 子													山 田	横 尾	三 木	鈴木	森 崎	新 井	加 藤 大
66	日高市公平委員会委員の選任について → トピックス⑧	同意	○	○	○	○	○	議長 （可否同数の場合のみ議長が裁決）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0				
67	日高市固定資産評価審査委員会委員の選任について → トピックス⑨	同意	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0			
68	令和5年度日高市一般会計補正予算（第6号） → トピックス⑩	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×	14	1					
69	令和5年度日高市水道事業会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0			

会期日程

11月24日(金)	開会。市長行政報告。会期の決定。	12月7日(木)	一般質問
	議案21件の提案説明。	12月8日(金)	一般質問
11月30日(木)	議案2件の質疑・討論・採決。議案19件の質疑・委員会付託。	12月11日(月)	一般質問。議案2件の提案説明。
12月1日(金)	委員会（総務福祉・議会運営）	12月14日(木)	議案19件の委員長報告・質疑・討論・採決。議案2件の質疑・討論・採決。
12月4日(月)	委員会（文教経済）		市長行政報告。閉会。

トピックス①

議案第47号

令和5年度日高市一般会計補正予算（第5号）

賛成多数

歳入歳出予算の総額に、それぞれ6億8548万5千円を追加し、補正後の総額を225億9275万5千円としたいというものです。繰越明許費として、適正な事業期間を確保するため、追加及び変更。債務負担行為として、各施設の令和6年度の電気料金の契約を行うため追加、円安等による物価高騰を勘案し英語指導助手派遣業務の限度額を変更。地方債について、中学校維持管理事業に係る限度額を変更したいというものです。

歳入：国庫補助金について、「社会保障・税番号制度システム整備費補助金」、「学校施設環境改善交付金」を追加、繰入金について、「財政調整基金繰入金」、「公共施設整備基金繰入金」を追加、市債について、「教育債」を増額したいというものです。

歳出：共通事項として、人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告を踏まえた給与月額及び期末・勤勉手当の改定による人件費等の補正。総務費において、パリ2024オリンピック競技大会マラソン男子日本代表に内定した小山直城選手を応援する実行委員会への補助金を追加、住民票及び戸籍の附票への氏名振り仮名を追加するためのシステム改修費をそれぞれ追加。民生費において、重度心身障がい者医療費助成事業における令和6年度からの県内現物給付化に向けたシステム改修費を追加。商工費において、令和5年度末に行われる春まつりを実施するための委託料を増額。教育費において、小中一貫教育の実施に伴う高麗中学校の校舎等の改修費及び体育館への空調設置費を増額したいというものです。

反対討論

人事院勧告の対象とならない市長、副市長、教育長、議会の議員の期末手当引き上げ分が含まれていること、戸籍とマイナンバーのひも付けや市職員の負担増が懸念される住民票等の氏名に読み仮名を付けるためのシステム改修費が含まれていることから反対する。

賛成討論

予定されている子どもや医療、出産に係る重要施策の費用が計上されていることに加え、市民にとって必要な取り組みに適正、かつ時間的制約にもスピード感を持って対応したものである。それらを止めるわけにはいかない。施策の確実な執行のため本案に賛成する。

トピックス②

議案第51号 日高市債権管理条例

全員賛成

公債権と私債権で法律上の対応が異なること等により、業務ごとの管理体制や適切な事務処理に限界が生じ、より一層の適正な事務執行体制を図っていくことが必要となっていることから、市の債権管理に係る事務処理の共通すべき事項を定め、公正かつ円滑な行財政運営を行うため、必要な事項を定めたいというものです。

トピックス③

議案第54号 日高市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例

全員賛成

川越都市計画旭ヶ丘松の台地区地区計画の都市計画決定に伴い、地区計画の内容を遵守させるため、罰則を設けた条例を定めたいというものです。

トピックス④

議案第55号 日高市地区計画区域内における建築物の緑化率の最低限度に関する条例

全員賛成

川越都市計画旭ヶ丘松の台地区地区計画の都市計画決定に伴い、地区計画の内容を遵守させるため、罰則を設けた条例を定めたいというものです。

トピックス⑤

議案第56号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

賛成多数

議会の議員の期末手当の支給割合を変更したいというものです。

反対討論

職員の引き上げ分の内訳は勤勉手当と期末手当であり、勤勉手当のない議員の期末手当を職員と同様に引き上げるのは妥当ではない。また、20%もの役職加算について市民に説明ができない。物価高騰が長引き、市民の生活が苦しい中、市民の理解が得られない。

賛成討論

民間の景気動向や賞与支給状況、経済情勢などを加味して調査した、人事院勧告及び県人事委員会勧告に沿って変更されるものであり、市長等とのバランスを踏まえた適正な変更内容であると考え、本議案に賛成する。

トピックス⑥

議案第57号 市長及び副市長の給与等に関する条例の一部を改正する条例

賛成多数

議案第58号 教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例

市長及び副市長、並びに教育長の期末手当の支給割合をそれぞれ変更したいというものです。

反対討論1

特別職の給与等については、地方自治の観点からも人事院勧告に縛られず、その職責と実績、市の財政等を考慮して決めるべきである。長引く物価高騰に苦しむ市民の生活をよそに、市のリーダーたる市長・副市長の期末手当を今引き上げるべきではないと考える。

賛成討論1

社会一般の情勢に適応させるため、人事院勧告並びに県人事委員会勧告に沿って、一般職に準じて市長等の期末手当の支給割合を変更することは、地方公務員法の均衡の原則に適合するものと考え、このことから、本改正案に賛成する。

反対討論2

議案第57号と同様の理由により反対する。

賛成討論2

本改正案は、人事院及び県人事委員会勧告に沿った市職員の期末手当・勤勉手当の総支給割合と同様に教育長の期末手当支給割合の引き上げを行うものであり、市職員とのバランスを踏まえた適正な変更内容であることから賛成する。

トピックス⑦

議案第61号

日高市子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

全員賛成

子どもの保健の向上と福祉の増進を図るため、子ども医療費の対象年齢について、通院・入院ともに現行の15歳年度末までを、令和6年4月から18歳年度末までに拡大することにより、子どもが必要とする医療を容易に受けられるようにしたいというものです。

トピックス⑧

議案第66号

日高市公平委員会委員の選任について

全員同意

前任者の任期満了に伴い、後任として新井義雄氏を選任したいというものです。



あらいよしお
新井義雄 氏

トピックス⑨

議案第67号

日高市固定資産評価審査委員会委員の選任について

全員同意

任期満了に伴い、再び野崎誠氏を選任したいというものです。



のざき まこと
野崎 誠 氏

トピックス⑩

議案第68号

令和5年度日高市一般会計補正予算（第6号）

賛成多数

歳入歳出予算の総額に、それぞれ4億4137万を追加し、補正後の総額を230億3412万5千円としたいというものです。繰越明許費として、適正な事業期間を確保するため、追加したいというものです。

歳入：国庫補助金について、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を追加したいというものです。

歳出：民生費において、低所得世帯の生活を支援するため、7万円を給付するための費用を増額。衛生費において、市民の経済的負担の軽減及びゼロカーボンシティの実現を推進するため、バイオマス素材を含有した市推奨ごみ袋を全世帯に配布する経費を追加、諸支出金については、物価高騰対策として、水道事業が実施する基本料金の減免を支援するための補助金を増額したいというものです。

反対討論

エアコンなど省エネ家電への買い替えへの補助金及びバイオマスごみ袋を全世帯に配布する事業については、CO₂削減が主な目的であり、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者への支援という国の交付金の本来の目的を果たすことに疑問があるため反対する。

賛成討論

本予算は、エネルギーや食料品価格等の物価高騰が続く中、国の交付金と合わせて一般財源も投入し、迅速かつ効果的な物価高騰対策を講じることとしており、必要不可欠なものとする。よって本議案に賛成する。



なりた なおこ
成田 奈緒子

生物多様性を主眼にした巾着田と
周辺の利活用を

水辺 de ベンチャーチャレンジ事業の展望は

答弁 環境・持続可能性に配慮し地域主体での取り組みが重要

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 生態系サービスを鑑みた持続的自立的維持管理に必要な費用の捻出と、事業の推進体制は。

答 長期的視野で受益者負担の在り方を検討。協議会内各部会に関係団体、学識経験者等配置。

循環型社会の形成とごみ減量・抑制について

問 日高市は非エネルギー CO₂排出量県内3位。循環経済の取り組み、生ごみ削減は必須。ごみ減量化に関する取り組みと展望、施策の検討は。

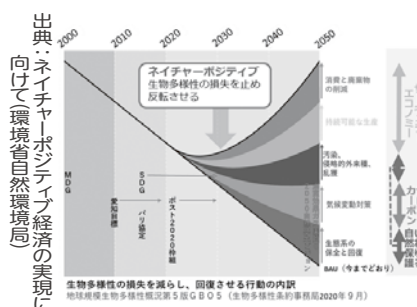
答 環境教育講座・バイオマスごみ袋配布等啓発に努め、更に3R推進と情報収集に努めていく。生ごみ処理容器等の購入補助を個人と法人に、電気式生ごみ処理機も貸し出ししている。

問 粗大ごみを分解し資源化処理の方法に並行して飯能市のようなリユース販売等新たな施策は。

答 現行の中間処理体制維持。循環型社会の推進に有効な手段と考える。今後研究する。

問 清掃センターの現状と今後の計画・方針は。高麗本郷地内西清掃センター用地の活用は。

答 不使用の一部分除却予定。解体後の施設整備の在り方検討。高麗本郷用地の他目的利用は困難。



かとう だいすけ
加藤 大輔

公共施設再編計画の確実な実施が必要

学校跡地活用との兼ね合いは

答弁 計画の趣旨を踏まえた跡地活用を進める

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 令和7年度までに、対象施設の延べ床面積を10%削減するとしている計画の進捗状況は。

答 小中一貫教育の実施に伴う学校教育施設等の廃止を予定しているの、目標としている対象施設の延べ床面積10%削減を達成する見込みである。

旭ヶ丘松の台土地区画整理事業を安全に

問 1月から工事が始まるが、通学路の変更や通行止めに対する工事中の安全対策や周知は。

答 工事の進捗に合わせて随時仮設道路を設け、児童や学校関係者の安全な通行を確保する計画である。周知については、工事の進捗状況に合わ

せて、早い段階で組合より伝達していくとともに、市による調整事務等の支援を継続していく。

地域学校協働活動で地域も元気に

問 目指す15歳像とも言われるが、目指す子ども像は関係団体に共有されているか。

答 各団体が地域学校協働本部の一員であるとの認識で活動いただくことで、共有できていく。

- ◎高萩北地区 明日をひらきのびゆく 輝多っ子
- ◎高萩地区 ふるさとを愛し、生きていく力を育む萩っ子
- ◎高麗川地区 ふるさとを愛し、自ら進んで学ぶ、心豊かな高麗川っ子
- ◎高根地区 夢を持ち、自分の行動に責任を持つ かにたっ子
- ◎高麗地区 よく学び、心豊かに、たくましい高麗っ子
- ◎武蔵台地区 たくましく未来を切り拓き、一步上を目指す台っ子

各校区の小中共同目標《目指す子ども像》



み き し ん や
三木 伸也

日常生活用具の給付で一時的にストマが必要な方への給付について

ストマの一時的な給付は可能か

答弁 法律上、非該当のため支給対象外となる

動画で一般質問をご覧ください



問 現在、医療技術が進み永久的にではなく一時的にストマが必要な方が急増している。この制度は、国の予算範囲での補助とのことだが、国の予算枠を超えたケースはあるのか。

答 負担は国50%県25%市25%のところ、現状は国の予算が足りず市負担は一般財源を利用し60.1%となっている。利用者への影響はない。

日高市公式LINEの便利な使い方について

問 「ごみの分け方検索」でヒットしない名前がある。アイテム数やコメントなどの追加は。

答 市民の皆様の利便性を高めるため、品目数の追加やコメントの拡充を図りたい。

問 防災行政無線の内容が通知されないが、どのようなになっているのか。

答 システムの仕様で、初期の設定を受信とすることができない。そのため利用者で「お知らせ受信設定」を行っていただく必要がある。内容によっては命に関わる場合もあるので、システム変更について保守業者に粘り強く交渉していきたい。



病気で一時的に必要となることがあるストマ



や ま だ か ず し げ
山田 一繁

おめでとう！小山直城選手、パリ五輪のマラソン日本代表に内定

小山直城選手の応援体制は

答弁 地域一丸となって全力で応援していく

動画で一般質問をご覧ください



問 小山選手は、高麗川小・中学校を卒業、松山高校、東京農業大学を経て、現在、Honda陸上競技部で活躍。日高市として初めてのオリンピック選手。市を挙げて大いに応援したいと思うが、市としての応援体制は。

答 オリンピックという大舞台に挑む小山選手を全力で応援していく。そのために応援会を設立し実行委員会を組織して、地域一丸となって小山選手を応援する。応援会では小山選手が出場する競技の応援、オリンピック競技大会にむけた激励、広報等を通じた機運醸成事業などを計画。なお応援会の実行委員会には、市、教育委員会、議会、スポー

ツ協会、商工会、観光協会、区長会などの協力で運営していく。

問 男子マラソンは2024年8月10日に行われる。大会当日までの機運醸成は。

答 本人や所属チームに負担をかけないことが大前提。市HPや広報での紹介、横断幕やのぼり等の掲出。応援パネルを作成し機運を高めていく。



パリ五輪マラソン日本代表内定・小山直城選手



かとう しょうご
加藤 将伍

調整区域の空き家活用、住宅から
飲食店等への用途変更について

飲食店の排水放流不可の理由は

答弁 浄化槽の排水を10人槽以下に限るため

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 現在の一律制限ではなく、流末までの距離や道路側溝の排水能力に合わせて、場所ごとに調査し、合併浄化槽設置許容量を決めるべきでは。

答 不測の混乱が生じる恐れがあることから、現時点での見直しの予定はない。

がん検診の推進、受診率向上に向けた取り組み

問 コロナ禍における検診の対応方法と受診率の影響は。

答 検診日程の増加と受診時間の分散等の工夫で、令和3年度以降コロナ前を上回る成果を得た。

問 検診を受診するきっかけの少ない専業主婦を含め、女性に向けた取り組みは。

答 20歳で子宮頸がん、40歳で乳がん検診の無料クーポンを配布。また、乳幼児健診時にお母さんに啓発チラシを配布している。さらに、集団検診においては女性限定の日程を設けている。

問 検診を受診するきっかけづくりとして、本市の「健幸ポイント事業」にからめた施策は。

答 健幸ポイント手帳に紹介ページを設け、検診の受診を「ポイント獲得項目」に設定している。

問 今後、社会保険と市が連携を図り、がん検診を推進することも必要と考えるが、方策は。

答 日本最大の医療保険者「協会けんぽ」と同時受診ができる環境整備を模索していく。



こんどう さおり
近藤 沙織

動物愛護・動物福祉や動物問題に
おいてさらなる周知が必要

野良猫問題への取り組み状況は

答弁 ボランティアの確保や自治会との連携に努める

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 動物福祉の指標として「動物の5つの自由」が認知されており、人間が管理する全ての動物に対して与えられるべきと考えるが、見解は。

答 「5つの自由」については重要であると認識し、今後、様々な機会を通じて周知を図る。

問 相当数が生息すると考えられる野良猫の現状と、TNR(捕獲、不妊・去勢手術、戻す)を含め、野良猫問題に対応するボランティアの数は。

答 苦情は令和4年度に11件。対応ボランティアは現在1団体。必要に応じて、ボランティアの確保に努めていく。

問 災害時のペット同室避難は、動物愛護の観点のみならず、飼い主が避難を躊躇することのないよう安全面でも重要。市の取り組みは。

答 場所の確保、避難者や施設管理者の理解と協力、衛生環境の確保など様々な課題があり、他自治体の取り組みなどを参考に研究していく。

問 ペット同行避難について知らない人が82%と認知度が低い。認知度向上のために防災手帳作成や動物病院との連携は。

答 国で作成している災害対策ガイドラインや県の防災手帳を、市HPに掲載して周知啓発する。





さとう まこと
佐藤 真

不登校の子どもや保護者への支援拡充と
ネット・ゲーム依存症防止の対策を

保護者の悩みをどう聞か

答弁 相談体制を充実させ、必要な支援につなげる

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 不登校の子どもや親の相談に、カウンセラーなど専門的な知見を持つ方との相談ができる体制を充実させる必要がある。連携強化の方策は。

答 教職員だけで解決できないケースに対応するため、専門的な知識やスキルを持つ方との連携は欠かせない。文科省の配置充実など不登校取組強化の方針もあり、人材配置を決定する県の動向を注視する。保護者の悩みについては、市の相談体制の充実や、県教委の行っている事業など必要な情報がしっかり保護者に届くようにするとともに、個々の状況に応じて保健所や児童相談所など県の機関との連携を図り、必要な支援につなげる。

問 子どもが、過度にネット・ゲームにのめり込むことで、日常生活や社会生活に悪影響を及ぼすネット・ゲーム依存症にならないための方策は。

答 危険性を授業で学習すると共に、家庭への啓発や学習用タブレットの利用制限を行っている。また、教育活動全体で行っている子どもの達成感や自尊感情を高める取り組みを、より多く提供することが予防に効果的と考える。



教育支援センター「ユリイカ」がある生涯学習センター



まつお まよか
松尾 万葉香 高根学童の統合
丁寧なコミュニケーションを

学童運営の在り方は

答弁 より一層の話し合いの場を設けていく

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 学童は、子どもが第二の家庭として安定的に通える環境が大切である。保護者の育休中も希望する子どもは利用できるようにする考えは。

答 現状は、育休中は退室としているが、必要性を検討していきたい。

問 高根学童の統合は、前触れなく突然、保護者や関係者に紙面のみで通知されたため、運営に不安が生じた。今後、施設の統合や同様の大きな決定に際しては、丁寧な相談や説明があるべきと考えるがどうか。

答 そのような大きな変更を検討する場合には、より一層の話し合いの場を設けるなど、理解

を得られるように努めていきたい。

地域防災について

問 避難所生活を送る場合、避難所の運営は住民主体で行うものだが、その事実が市民に認識されていない。地域防災の要となる「防災リーダー」がいる自主防災組織はいまだに約半分であり、避難所運営マニュアルも未完成である。対策は。

答 若手や女性も含めた防災リーダーが各自主防災組織に複数人必要。避難所訓練に向け、「自主防災組織リーダー養成講座」を開催し、人材の養成や運営マニュアルの作成を進めていく。



たなか

田中 まどか

来年度、また上がる！？
国民健康保険税は重すぎる！

県の国保運営方針に対する市の見解は

答弁 方針に基づき持続可能で安定的な運営を図る

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 国民健康保険の加入者は、数が減っている上、高齢構成が高く、平均所得が200万円以下、約40%が無職で担税力の弱い人が多いにもかかわらず税額は毎年上がっており、負担が重い。しかし県はさらに税率を上げ、一般会計からの補てんをゼロにしろと言う。県の方針に対する市の見解は。

答 県の方針に基づいた運営を図っていく。また、全国の関係者が国に対し制度の改善に向けた陳情を行っており、その動向を注視していく。

認知症になっても安心して住めるまちへ

問 今年6月に成立した「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」への市の対応は。

答 今後策定される国や県による「認知症施策推進基本計画」を踏まえ、調査研究する。

問 認知症の人が事故や火災を起こした時のために、市が契約者となって民間の個人賠償責任保険を導入する考えは。

答 導入している自治体が60以上あるが、現時点では導入の考えはない。情報収集を続ける。

問 認知症になっても安心して暮らせるまちを目指すための条例を制定する考えは。

答 条例を制定している自治体は21あるが、県内ではまだない。近隣市町の動向を確認しながら条例の必要性を調査研究していく。



おおさわ ひろゆき

大澤 博行

高麗川小・中学校プールと市民
プールの3施設を1つに集約

市民プールをリニューアルした狙いは

答弁 改修費用や維持管理費等のコスト削減

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 公共施設再編計画に基づき実施し、リニューアルした市民プールの特色は。

答 50メートルプールを水深の異なる3種類のプールに。暑さ対策としてプールサイドに遮熱シートや日除けを設置。安全対策として施設外周に目隠し用のフェンスや障がい者の方も利用しやすいスロープを設置。

問 リニューアルされた市民プールを授業で利用した児童生徒・教職員の感想は。

答 小学校の児童からは「浅いプールと深いプールがあり、のびのびと泳ぐことができた」
中学校の生徒からは「25メートルプールのように

な折り返しがなく泳ぎやすい」といった好意的な感想が多い一方、中学校では移動距離が長くなり移動が大変という声も挙がっている。

教職員の反応としては、プール槽がエリア分けされており、グループ活動がしやすい点やプール全体を見渡せ、指導や安全面での効果があるなどの利点が挙がっている。また、水量・水温・水質等の管理業務がなくなり、負担軽減につながっている。



—昨年リニューアルされた市民プール



あらい ひとし
新井 均

人口減少に対応する「持続可能な
日高市」をつくる

動画で一般質問を
ご覧いただけます



市民・地域に活力を「4つの提案」

答弁 日高市の活力を高める政策を推進する

問 日高市の少子高齢化の現状・人口動態は。

答 令和5年度当初と5年前の平成30年度当初を
比べた場合、年少人口（15歳未満）が1.9ポ
イント減り、老年人口（65歳以上）が2.5ポイント
増えている。生産年齢人口（15歳から64歳まで）
もこの5年間で0.7ポイント減少している。本市の
総人口に対する老年人口の割合は33.7%であり、
県内でも高い状況にある。

問 「人口減少に対応する持続可能なまちづく
り（4つの活力）」を提案するがどうか。

①地域資源を活用した地元産業振興や観光振興

②子育て世帯・高齢者に優しいまちづくり

③環境に配慮した「住みたくなるまち」づくり

④「住み続けたくなる」地域コミュニティの活性化

答 提案に基づいた事業として、土地区画整理事
業を進め新たな就業の場を整えている。ま

た、子どもを安心

して産み育てられ

る支援やシニアの

支援・地域おたす

け隊支援・省エネ

化等を推進する。



活力があり持続可能な日高を

提出された陳情書

第5回定例会に、次の陳情書が提出されたので、その写しを全議員に配付しました。

（陳情第5号）

陳情書（①各種「空き家事業」で宅建協会会員へ取り次ぐ際に評価証明等の情報開示について空き
家所有者の了解を取り付ける件②埼玉県内各市町における所有者不明土地対策計画策定に関する件③
不動産情報のWeb公開とGIS（地理情報システム）情報の公開と普及促進に関する件④空き家（空
き地）対策等の行政サービス・行政相談絡みの物件における行政内部の横断的な連携の推進と協議の
調整に関する件

（陳情第6号）

子どもの居場所、及び遊ぶ権利の保障を求める陳情

豆知識

委員会制度とは

社会経済の進展に対応して行政が著しく多様化・専門化している中、本会議のみの審議では、多数
の議案を能率的に処理することが困難です。委員会制度は、これを補完し、審議を充実させるために、
それぞれ専門部門に審査を分担するものであって、戦後、アメリカ民主政治の例にならって、わが国
の国会、地方議会にも採用されることとなったものです。

地方自治法では、議会は、条例で、常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会を置くことがで
きるとされています。

常任委員会は、各所管部門に属する市の事務に関する調査を行い、議案等を審査する機関で、議会
運営委員会は、議会の運営を円滑、効率的に進めるための機関です。どちらも常設の委員会です。日
高市では、総務福祉常任委員会、文教経済常任委員会、議会運営委員会が設置されています。

これに対して特別委員会は、特定の事件に限って設置される臨時的機関であって、その事件の審査
等が終了すれば消滅する委員会です。日高市では、決算特別委員会が該当します。

令和6年能登半島地震のお見舞い

この度の地震により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

**3月定例会は 令和6年
2月21日(水)～3月13日(水)まで**

午前10時開会

会期の日程(案)は、公民館、出張所、生涯学習センター等に
掲示、市のホームページに掲載します。

会期は、おおむね22日間です。日程は変更になる場合があります。

詳しくは、日高市ホームページへ

**議会傍聴へ
ぜひお越し
ください**



定例会の本会議、委員会等
を傍聴できます。

詳しくは、ホームページで
確認いただくか、議会事務
局へお問い合わせください。

↓傍聴ご案内ページ
QRコード



議長・副議長の仕事紹介

日高市議会では、16人の議員の中
に議長と副議長がいます。市議会の中
でどのような役割を果たしているの
でしょうか。



鈴木議長新年あいさつ
QRコード

議長とは、議会活動を主宰し議会を代表する者であり、欠くことのできない重要な役です。
現在、議長に鈴木健夫氏、副議長に和田貴弘氏が選出されています。議長の仕事は、議場の秩
序の保持や議事の整理、議会に関する事務を指揮するほか、議会を代表して式典や会議に出席
します。副議長は議長が欠けたときや、議長に事故があるときに議長に代わって職務を行います。
議長・副議長は、議員の中から選挙により、それぞれ選ばれます。



祝辞を述べる鈴木議長
(高麗郷古民家公開10周年記念)

日高市議会では、本会議の映像を録画配信しています！

傍聴に来られない人でも、本会議の映像を市ホームページ（市議会）からご覧いただけます。

www.city.hidaka.lg.jp



←日高市
ホームページ
QRコード



←日高市議会
トップページ
QRコード



←議会中継(録画)
トップページ
QRコード

発行：日高市議会 ☎ 042-989-2111 (代表) / 編集：議会だより編集委員会 / 年4回発行(2月・5月・8月・12月)

日高市議会だより第122号は19,800部作成し、1部当たりの印刷単価は約15.30円です。読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しています。